

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	中原支援学校	課程・学科 教育部門・学部	
-----	--------	------------------	--

1 学校のミッション

共生社会の実現に向け、地域とともに、児童・生徒の自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行う。

肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の特別支援学校として、小学部・中学部・高等部を通した一貫した教育を行うとともに、一人ひとりの障がいの状態等に応じた就労支援の取組を充実させる。医療的ケアを必要とするなど、多様な教育的ニーズのある児童・生徒の教育活動全般について、安全に実施する校内体制の整備をすすめ、個々の障がい及び健康等の状況に合わせた専門性の高い指導を実践する。加えて、ICTの活用等を含めた取組の充実を図り、児童・生徒が主体的に力を発揮できる授業実践を推進していく。

また、センター的機能を発揮し、地域の各学校における支援を必要とする児童・生徒等への教育的ニーズに応じた効果的な支援を行うとともに、これらの学校と交流及び共同学習等を通じて、児童・生徒の相互理解を図る。

2 学校教育目標

『自ら考え、自分らしく生きる人を育てる』

豊かに	…	自立して、心豊かに生きる人を育てる
伝える	…	自分の気持ちを表現する力を育てる
広げる	…	地域の中でよりよく生きる力を育てる

3 計画策定期点での課題

- ① 教育課程については、引き続き「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を進めるとともに、地域資源等を活用した社会に開かれた教育課程を編成する必要がある。
- ② 児童・生徒の障害の重度化、多様化を踏まえ、専門職（自立活動教諭、看護師、養護教諭、栄養教諭）と連携し一人ひとりのニーズを的確に把握し、専門性の高い指導を行う必要がある。
- ③ 自立と社会参加を目指し、小学部段階から系統性のある進路指導支援が求められている。
- ④ 共生社会の実現に向け、センター的機能を発揮し地域の中の支援を必要とする児童生徒への効果的な支援を行うとともに、学校教育活動の広報活動の拡大が求められる。
- ⑤ 学校教育活動にかかわるすべての職員が、安心安全で人権意識の高い組織づくりを意識していく必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を進めるとともに、地域に開かれた教育課程を編成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究、授業研究を行ながら、授業改善を図る。 ・地域資源を活用した学習や近隣の学校等との交流及び共同学習を進める。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	児童・生徒のニーズに応じて指導できるようにＩＣＴ機器の活用等を含め、校内指導体制を整備し、指導・支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職等を活用し、児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた専門性の高い指導を実践する。 ・児童・生徒一人ひとりのニーズに応じて、ＩＣＴ機器等の活用を含め、教育内容の充実を図る。
3	進路指導・支援	保護者や関係機関と連携し、児童・生徒の将来に向けての進路指導・支援を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部段階からの系統的な進路指導・支援を行う。 ・保護者への情報提供や関係機関との連携を充実させる。
4	地域等との協働	共生社会の実現のためにセンター的機能の活用促進を図るとともに、地域と連携した活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談、ケース会を充実させ、地域のセンター的機能を発揮する。 ・学校の様子や教育活動について積極的に発信することで、共生社会の実現を図る。
5	学校管理 学校運営	児童・生徒の安心安全な教育環境を整備し、信頼される学校づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを整え、周知徹底することで安心安全な学校づくりを行う。 ・同僚性を発揮し風通しのよい職場づくりを行う。 ・教職員全体で人権意識の向上を図る。